運用規約（日本私立大学連盟教職員野球大会）

- 一、私立大学教職員の厚生福祉の面から、スポーツを通じて相互理解と親善の場を作り、更に健康増進と事務効率を上げることを目的とする。
- 二、この大会は日本私立大学連盟に加盟する関東地区中心の大学教職員で結成された野球部で構成し、日本私立大学連盟教職員野球大会と称する。
- 三、大会は一大学一チームの参加により毎年一回開催する。ただし、運営委員会の承認によりこの限りではない。将来は更に同好の大学チームに呼びかけ大会を拡げたい。
- 四、この大会に運営委員長（以下委員長という）をおき、委員長は大会を統括する。
委員長は大会運営委員校の中から運営委員会の指名により委嘱する。委員長は必要と認めるとき、委員長経験者または大会運営委員校の中から副委員長を任命することができる。
なお、委員長および副委員長の任期は、一年とし、再選を妨げない。また、この大会に顧問をおくことができる。顧問は運営委員会が指名する。
- 五、大会運営については、参加校全体の協力による自主的な運営を建前とし、別に複数の運営校よりなる運営委員会を置く。なお、運営校の任期は原則、二年とし、毎年半数交代とする。
- 六、運営委員会は、協議により運営の実務を担当する以下の担当を置く。
 - 1) 庶務担当
 - 2) 会計担当
 - 3) その他運営委員長が必要と認める担当（例：グラウンド担当、審判等）
- 七、運営委員会の活動場所は、規約六 1) または 2) の代表を務める運営校の住所とする。
- 八、出場選手は監督以下全員登録する。その際登録人数については制限しない。
- 九、選手資格は原則として各大学専任教職員とし、大会当概年の五月三十一日までに就職したものとする。但し、学生の体育実技（野球）並びにクラブ活動（野球）の指導を主たる業務とする教職員の参加は認めない。
- 一〇、大会開催期日は夏季休業時期の事務量の比較的少ない時期に行うこととする。
- 一一、大会グラウンドは運営委員会の準備したグラウンドとする。
- 一二、使用球は東京都軟式野球連盟使用球とする。
- 一三、審判については原則として運営委員会において公認審判員を委嘱するが、参加チームより一～二名を推薦し審判を委嘱することもある。
- 一四、ルールは公認野球規則（軟式）を準用し、別に定める本大会試合ルールを併用する。なお、運営委員は各試合に先だち、主将及び審判員を招集し、ルールの遵守について打合せを実施するものとする。
- 一五、優勝チームには賞状・優勝旗（盃）、準優勝チームには賞状・準優勝トロフィー、三位チームには賞状を授与し、優勝チームには最優秀選手賞、準優勝チームには敢闘賞として各々に楯の個人賞を考慮する。なお、優勝旗（盃）および各種トロフィーについては、次年度の開会式までに運営委員会に返却するものとする。

一六、大会運営費は、参加費及び登録費をもって大会に要する一切の費用を賄う。但し、参加費一チームにつき参万参千円、登録費（初参加チームのみ）壹万五千円とする。

一七、大会中におきた事故については、当該大学にて処理すること。但し、予め保険に加入することが望ましい。

一八、大会運用規約は必要があれば修正する。

付則

一、本大会に日本私立大学連盟の職員で結成された野球部の参加を認める。

四二、五、 修正

四三、九、

四四、七、

四九、五、

五〇、五、

五二、五、

五四、五、

五九、五、

平成 二、五、

四、五、

八、五、

一〇、五、

一一、五、

一三、七、

十七、七、 ”

二二、四、 ”

二六、六、 ”

三一、四、 ”

令和 六、五 一五改訂

六、七 追加

（注1）規約二にいう「大学教職員」とは、単に大学部門に所属する教職員に限らず、例えば法人本部、高等学校、幼稚園等の同一法人における部門に所属する教職員と考えてよい。

（注2）規約三について、参加チームは、複数大学一チーム、一大学複数チームを認める。

(注3) 規約一四について、大会グラウンドを夢の島軟式野球場とする場合、大会参加費を弐萬八千円とする。

※ただし、夢の島軟式野球場の利用料金が二時間貳千貳百五拾円以下である場合に限る。